特集◎中学生国際交流事業

成長させてくれた、あの瞬間

20人の感想をひとつに紡ぐ

３月24日から30日までの７日間、派遣生（中学２年生）20人が「中学生国際交流事業」で、フランス・コンピエーニュ（姉妹都市）とパリを訪問し交流しました。

今月号では、帰国後の20人の感想を抜粋し、テーマごとにまとめて皆さんにお届けします。

旅立ち

Le départ

14歳の少年少女が異国へ旅立とうとするとき、どのような心境だったのでしょうか。その気持ちを次のように綴っています。

「今回、国際交流事業に参加できると決まった日から、私は期待と不安でいっぱいでした。初めて体験するホームステイでホストファミリーと仲良く生活できるのか。暗くどんよりと心の中は沈んでいきました。

抱えきれない不安も、フランスに到着した瞬間、不安から期待に変わりました」。

スムーズな国際交流ができるように事前に研修を受けたものの、現地かれていました。

「一生懸命伝えようとするけど、なかなか言い出したいことを伝えられずに、もどかしかったです。私がもっと話すことができれば、もっといろんなことが分かりあえたのではないかと思いました」。

「ピエール・ダリ高校での交流では、何を言っているのか意味が分からず、とりあえず折り紙を折っているときがありました」。

「言葉の壁はありましたが、〝どうすれば伝わるんだろう〟と考えることを楽しく感じました」。

「分からないことは、そのままにしないで、積極的に質問し、会話することでホストファミリーとの仲を深めました」。

「私の目標にしていた少しでもフランス語で会話することが達成できました」。

風景

Décor

美しいフランスの町並み。派遣生たちの目にはどのように映っていたのでしょうか。

「小さな街が点々とあり、その周りには広いフィールドが広がっていました。フィールドの道はくねくね曲がった道で、街中の道は石畳で昔からの道でした。家や教会も昔から代々続いているようで、どこを見ても絵のような風景でした」。

「街はとても開放的でした。広場では、たくさんの人々が楽しそうにくつろいでいました」。

「建物一つひとつに驚きました。コンピエーニュの市役所は白河の市役所よりとても立派で、まるでお城のようでした」。

最終日のパリ観光では、「想像上でのフランスが現実となり、感動の嵐でした。エッフェル塔やノートルダム寺院等、美しく壮大な歴史的建造物に圧倒され、無我夢中でシャッターを押し続けました」と感想を述べています。

言葉

Mots

ホームステイ、ピエール・ダリ高校との交流などで、派遣生が心配していた「コミュニケーション」。多くの感想文には、言葉の壁について書に行くまで不安は消えないものです。しかし、驚くべきは、気持ちの切り替えの早さ。生徒たちは国際交流へ一歩踏み出したのでした。

「英語やジェスチャーで、相手の言いたいことが分かったとき、また、自分の意思が伝わったときには大きな喜びを感じました。しかし、同様に自分自身の未熟さを知り、言葉をもっと学ぶべきだと思いました」。

将来

Dans le futur

ホームステイ先で、多くの優しさと文化に触れ、成長していく派遣生たち。この貴重な体験は、派遣生たちの将来へつながる〝糧〟となるでしょう。

「笑顔で〝よろしくね〟と日本語で話しかけてくれました。硬かった表情に笑顔が戻りました」。

「ホストファミリーから私に伝わるように工夫して話してくれ、とてもリラックスさせてくれました」。

「日本から持っていった箸で、私が持ち方を教えて一緒に食べたことが何より嬉しかったです」。

「日本の家は狭いけど、日本の美があると感じました。靴を脱いで家に上がる習慣や、畳や障子の良さを、フランスに行って改めて感じました」

「言葉や生活等の国境を超えた人とのかかわりにおいて、深い思いやりを持って体当たりで理解し合おうと努力することがどんなに大切で、喜ばしい事かを学びました」。

「様々な新しい体験は、必ず自分に生きてくると思います」。

「私の将来の夢は、英語教師になることです。今の私ではまだまだその夢には程遠いです。しかし、日本人と異なる国の人たちと互いに理解し合う気持ちを大切にしたいと思います」。

写真で見る「コンピエーニュ・パリへの旅」

Un programme

3月24日

市役所での出発式。保護者、各学校の先生や市国際交流協会の役員等が見送りました。

1月27日・2月17日・3月16日

フランスへ行く前に事前研修会を３回開催。文化・言語を学び、出発の準備をしました。

3月26日

午後から市内のスーパーでタルト作りを体験。自分で作ったタルトを試食しました。

3月26日

ピエール・ダリ高校で、日本語を学んでいる皆さんと、折り紙や習字で交流を図りました。

中学生国際交流事業派遣生

相笠美也さん（中央中）
石井美帆さん（中央中）
猪越奎太さん（南　中）
岩本千穂さん（中央中）
遠藤七帆さん（中央中）
遠藤萌果さん（白二中）
春日滉介さん（中央中）
門藤美月さん（白二中）
草野隼斗さん（中央中）
小林瑞希さん（南　中）
酒井景之佑さん（白二中）
佐藤　彩さん（白二中）
佐藤仁香さん（中央中）
佐藤晴佳さん（五箇中）
鈴木健也さん（中央中）
鈴木浩暉さん（中央中）
髙橋奈央さん（大信中）
藤田純佳さん（表郷中）
森　美来さん（白二中）
山本　遥さん（中央中）
☆団長　古川雅裕さん
（市国際交流協会企画委員）

3月25日

夕方の歓迎会。和菓子作り体験を行ったほか、派遣生による歌を披露しました。

3月25日

ホストファミリーと過ごす休日。ピエールフォン城や付近の公園を散策しました。

3月24日

記念写真。派遣生を優しく迎え入れてくれるのは、長い間に培った交流の証です。

3月24日

コンピエーニュ市役所議場でホストファミリーと笑顔で対面しました。

3月29日

セーヌ川クルーズで船上からパリ市内を観光。最後はモンマルトルの丘を観光し、帰国の途につきました。

3月28日

パリ市内観光。ルーブル美術館、オルセー美術館、ノートルダム大聖堂などを見学。

3月27日

パリに向かう途中、オーベルシュルオワーズ、ゴッホの麦畑、ヴェルサイユ宮殿を見学。

3月26日～27日

コンピエーニュ城の見学（26日）。ホストファミリーに別れを告げ、一路パリへ（27日）。